

第28回水とくらしの110番シンポジウムのご案内



水道の広域化、民営化、料金値上げ～持続可能な水道を考える

2018年12月に、水道の基盤強化策として、コンセッション方式の制度化、広域化推進などの内容を含む、水道法改正法案が国会で可決されました。

住民の大切なライフラインである水道は、自治体の財政と住民が支払う水道料金により、発展してきた歴史のある地域住民の財産です。また、日本の水道事業の技術力は世界最高水準にあります。しかしながら、巨大地震への対応、水道水源の監視・環境保全、水道管や浄水場などの老朽化施設の更新などの課題が山積し、水道料金を主な財源とすることの限界が明らかになってきています。

民営化されれば、利潤を生み出すことが最優先となり、安全が軽視されはしないのか？経費削減のために、ライフラインの守り手であるはずの人員体制を縮小し、一方で広域化して大丈夫なのか？民営化も広域化も選択しないなら料金値上げしかないのか？

一日たりとも欠かせない命の水を供給する水道のあり方について、市民自らが真剣に考えるべき時がきています。

本シンポジウムでは、各分野からご報告、問題提起をいただくとともに、持続可能な水道のあり方について、皆様と一緒に考える場とします。

開催日時 2019年12月7日(土) 13:30~17:00 (受付開始 13:15)

会場 エルおおさか 6階606号室

基調講演 「改正水道法後の水道事業の民営化の課題」 仲上 健一 立命館大学名誉教授

報告 1 持続可能な住民自治による水道 自治労連公営企業評議会 事務局長 近藤 夏樹 さん

2 浜松市の水道コンセッションに市民はどう向き合っているのか

浜松市の水道を考える市民ネットワーク 池谷 たかこ さん

3 大阪市の水道管路更新業務のPFI導入 NPO法人AMネット 武田 かおり さん

4 奈良県の水道広域化計画と葛城市水道事業の将来 葛城市の水道を守る会 谷原 一安 さん

5 橋本市の施設更新事業と料金値上げ 橋本市の水道を考える会 中村 尚 さん

主催 近畿水問題合同研究会 後援 一般社団法人 大阪自治体問題研究所
(お問合せ先) 大阪市北区天神橋1-13-15 グリーン会館4階 大阪自治労連 公営企業評議会
TEL 06-6354-7201 FAX 06-6354-7206 e-mail:s_suirou@yahoo.co.jp

